

## 渡島・檜山地方税滞納整理機構の財務書類（令和元年度決算）の概要

### 1 貸借対照表

借 方	貸 方
<b>【資 産】</b>	1,405 万円
投資等	860 万円
うち基金	860 万円
流動資産	545 万円
うち現金預金	545 万円
<b>【資産合計】</b>	1,405 万円
<b>【負 債】</b>	0 円
<b>【純資産】</b>	1,405 万円
その他一般財源	1,405 万円
うち基金	860 万円
うち現金預金	545 万円
<b>【負債・純資産合計】</b>	1,405 万円

資産総額は1,405万円で、負債は0円、純資産は1,405万円となっている。

資産については、基金と現金預金である。基金の内訳は、定期預金となっている。  
現金預金の内訳は、一般会計の歳入歳出差引額の合計（剩余金）となっている。

### 2 行政コスト計算書

<b>【経常行政コスト】</b>	3,870 万円
人件費	205 万円
物件費	765 万円
補助金等	2,900 万円
<b>【経常収益】</b>	3,913 万円
負担金	3,913 万円
<b>【純経常行政コスト】</b>	△43 万円

経常行政コストは総額3,869万円であり、経常収益は3,914万円となっている。

これらの差引からなる純経常行政コストは△43万円となっている。

経常行政コストを性質別に見ると、人件費（顧問弁護士・監査委員報酬、各種手当等）が205万円、物件費（物にかかるコスト）が765万円となっている。補助金等の内訳として、派遣職員の給与等負担金が2,381万円、前年度剩余金の還付分が502万円、その他負担金等が17万円で、合計2,900万円となっている。経常収益は、構成各市町負担金として3,913万円となっている。

### 3 純資産変動計算書

令和元年度における純資産の変動は43万円となっている。

内訳として、純経常行政コストによる増が43万円となっている。

### 4 資金収支計算書

令和元年度末の歳計現金残高は545万円となっている。

現金残高は剩余金なので、翌年度、構成各市町に還付金として支出するものである。